

令和 4 年 6 月 17 日現在

機関番号：32604

研究種目：基盤研究(C) (一般)

研究期間：2019～2021

課題番号：19K00350

研究課題名(和文) 日本近現代文学におけるメロドラマ的想像力の展開に関する多角的研究

研究課題名(英文) A Multifaceted Study on the Development of the Melodramatic Imagination in Modern and Contemporary Japanese Literature

研究代表者

木戸 雄一 (Kido, Yuichi)

大妻女子大学・文学部・教授

研究者番号：30390587

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,300,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、「メロドラマ的想像力」をキーワードに、日本近現代文学作品の生産・流通・受容の様相を複数の視座から検討した。大衆的なメロドラマの物語を同時代の社会的・道徳的な規範にかかわる葛藤の表現と位置づけ、メロドラマの享受者が物語の特定の場面を引用しながら、自己自身にとっての現実を理解する枠組みへと転用していく様相を明らかにした。また、「メロドラマ的想像力」が雑誌メディアの誌面構成の原理として活用された事例について考究した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

文学作品を複数のエージェントによる交渉の産物として捉える視点を提示することで、作品単位での求心的な分析を軸に展開されてきた日本近代文学研究に対し、新たな研究のアプローチの可能性を提示した。大衆的なメロドラマの物語を演劇や映画、アニメーションといった複数のメディアの中で生成変化するコンテンツとして総合的に捉える視座を開いた。

日本帝国の境界が大きく変動した1930-1950年代の表象の政治を検討するうえで、「メロドラマ的想像力」をキーワードとする学際的な研究の重要性が確認された。

研究成果の概要(英文)：In this study, we examined the production, distribution, and reception of modern and contemporary Japanese literature from the viewpoint of melodramatic imagination. We have shown that the stories of popular melodramas represent conflicts with the social and moral norms of each era. We also discussed the fact that people who receive melodramas understand their reality by quoting freely from the story. In addition, when editing magazines, there were cases where 'melodramatic imagination' was used as a concept to control the entire work.

研究分野：近現代日本文学

キーワード：メロドラマ 戦争記憶 メディア アダプテーション 情動 近現代日本文学 物語

1. 研究開始当初の背景

1990年代以降の日本近代文学研究では、研究対象と研究方法の多様化が進んだ一方で、資本主義的な文化産業の中で大量に生産/再生産され、複数のジャンルやメディアを横断しながら消費されていった物語に対する検討が十分とは言えない状況があった。だが、日本近代文学研究が文化現象としての「文学」一般を取り扱う学知を目指す以上、しばしば散漫で気散じな読書行為の場で享受される物語の生産・流通・受容の様相を総合的に捉える視座が不可欠である。以上の問題意識から、本研究では、ピーター・ブルックスが提起した「メロドラマ的想像力」という概念を手がかりとしながら、日本近現代文学とその関連テキストを幅広く検討し、人々が自分(たち)にとっての「いま・ここ」を了解する際に欲望された大衆的な物語の形式と文化表象の歴史性・政治性に批判的に介入することを目指した。

2. 研究の目的

(1) 研究方法としての「メロドラマ的想像力」の可能性。「メロドラマ的想像力」という観点から日本近現代文学の作品を読みなおすことで、従来の文学史的記述とは異なるパースペクティブを提示する。また、物語の内的な論理だけでなく、断片的に切り出された場面や表象が喚起する情動の作用に注目することで、研究史上では通俗的・大衆的な作と位置づけられてきた物語が、読者・享受者の同時代における自己と世界の関係性を表象する認識と理解の枠組みを提供していたことを明らかにする。

(2) 「メロドラマ的想像力」のメディア論。新聞や週刊誌などのプリントメディアが、読者＝消費者の期待の地平と交渉するうえで「メロドラマ的想像力」を流用＝盗用していた様相を考究する。また、メロドラマの物語はしばしば観光をめぐる言説を包摂するが、物語の中で表現された観光地のイメージが現地にとっての資源として捉え返され、新たな物語を生産していった様相を明らかにする。

(3) 「メロドラマ的想像力」とアダプテーション。近現代の日本における「メロドラマ的想像力」の歴史的展開をたどる際には、ひとつの著名なコンテンツがメディアを跨ぐかたちで翻案され、再生産されていった様相を問う視角が不可欠である。近年著しい進展を見せているアダプテーションをめぐる研究、映画研究やアニメーション研究での知見と対話しながら、差異をはらみながら展開されたアダプテーションの現場をつぶさに検討することで、「メロドラマ的想像力」の多様なあらわれとその特質を明らかにする。

3. 研究の方法

・プロジェクトの参加メンバー10名を3つの研究班(機能班、空間班、アダプテーション班)として組織し、上記研究目的(1)~(3)それぞれについて主導的な役割を果たすものとした。

・各研究班を中心に「メロドラマ的想像力」の歴史的な検討にとって重要な先行研究をピックアップし、代表的な先行研究の著者や問題関心を同じくする研究者を招いた講演会、共同研究集会を企画し、実施した。また、研究の方法的な共通理解を深める目的で、いくつかの重要な理論的文献について読書会を開催した。

・近現代日本のメロドラマ作品にかかわる文献資料調査を実施し、メロドラマの物語の生産と受容の現場を実証的に明らかにすることを目指した。また、著名なメロドラマの物語の舞台となった現地でのフィールド調査を通じて、観光地において物語が断片化された上で資源として活用されている状況を検証した。

4. 研究成果

3年間の研究期間を「離陸期」「展開期」「総合期」に区分、共同研究プロジェクトとしての組織的な活動に加え、参加メンバー個人による研究でも以下の成果を得られた。2020年度以降は、新型コロナウイルス禍の影響で予定していた出張調査を断念せざるを得なかったが、活動をオンラインベースに切り替え、プロジェクト全体の研究会を3年間で11回開催するなど、スムーズに研究活動を継続させることができた。

(1) 学際的な対話と研究交流。2019年度に行った公開研究集会では、日本におけるメロドラマ映画研究の中心的存在だった河野真理江氏を講演に招き、映画におけるメロドラマ研究の歴史的・方法的展開について問題提起していただいた。2022年度には、科研費プロジェクト「貫戦期における日中映画の越境と協働をめぐる総合的研究」(研究代表者:晏妮、20H01222)と共催でオンライン研究集会「国民(ネーション)を縫い直す 貫戦期におけるメロドラマ的想像力の歴史的位相」を開催、メンバーからは大島・五味淵・横濱が報告を行った。いずれのイベン

トにも演劇・映画研究者をふくむ多くの参加者があり、「メロドラマ的想像力」というキーワードを媒介とした今後の共同研究・研究交流の可能性を実感させるものとなった。また、2021年度には近代日本の少女文化の研究者である渡部周子氏を招き、表象としての「少女」「病」と「メロドラマ的想像力」との交錯をめぐって議論を深めた。

(2)「メロドラマ的想像力」を手がかりとした研究の更新と方法的な展開。3年間に及んだ研究活動の成果の発信として、2021年10月に開催された日本近代文学会秋季大会(オンライン)にて、パネル報告「方法としてのメロドラマ 情動・翻訳・文化政治」を行った。この報告にあたっては、ブルックスの提唱した「メロドラマ的想像力」のコンセプトを部分的に修正したうえで、近代日本のメロドラマをジャンル論ではなく構築主義的な立場から捉える必要性と、文学的には欠点と見なされてきた物語の矛盾やご都合主義的な展開を、複数の規範的イデオロギーが衝突する現場として捉え返すことの意義を私的、メンバーからは高橋・木戸・副田・渡邊が報告を担当した。また、この報告を準備する過程で、日本近代文学におけるメロドラマ研究の第一人者である関肇氏に講演を依頼、現在の氏の研究関心と本プロジェクトの問題意識との同一性と差異をめぐって、突っ込んだ議論を行った。

(3)メンバーごとの個人研究の進展。上記の共同研究発表の成果のほかに、それぞれの関心にもとづき、近現代の日本における「メロドラマ的想像力」の具体的なあらわれを考察するケーススタディを積み重ねた。2019年度には、横濱雄二が、野坂昭如『火垂るの墓』と高畑勲によるアニメーション映画とを取り上げ、物語の舞台となった土地の歴史/記憶との詳細な比較を通じて、物語内容とは別のレベルで表象が観客の想像力を「メロドラマ的」に駆り立てて行くメカニズムについて、検討を行った。五味淵典嗣は、久米正雄『白蘭の歌』を題材に、小説テキストに刻まれた「メロドラマ的想像力」が同時代の言説といかなる葛藤・交渉をくり広げるかを議論した。渡邊英理は、「メロドラマ的想像力」に内在する大衆性・脱領域性・情動性を微分化して取り出すことから、中上健次・中上紀・崎山多美のテキストを再評価する研究を進めた。副田賢二は、週刊誌『サンデー毎日』の表象空間が立ち上げる「メロドラマ的想像力」とジェンダー化の様相について検討、山路敦史は、大岡昇平『武蔵野夫人』の空間表象と「メロドラマ的想像力」とのかかわりを議論した。2020年度には、森本智子がテレビドラマと映画『おっさんずラブ』を取り上げ、ヘテロセクシュアルな恋愛を中心化してきた「メロドラマ的想像力」のイデオロギー性を逆照射する報告を行った。アダプテーション研究としては、大島丈志がアニメーション『輪るピングドラム』と宮澤賢治『銀河鉄道の夜』との関係を、大橋崇行は快樂亭ブラックによる「講演」とディケンズ『オリバー・ツイスト』とのかかわりをそれぞれ論じた。木戸雄一は、2020年度に行った徳富蘆花『寄生木』のモデルとなった人物による自筆資料の調査・分析を踏まえ、明治期の地方青年がメロドラマの物語の場面を横領=盗用しつつ、自己自身の生を了解していくありようから、読書行為の現場で「メロドラマ的想像力」が果たした役割を明らかにした。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計16件（うち査読付論文 3件 / うち国際共著 0件 / うちオープンアクセス 2件）

1. 著者名 横濱雄二	4. 巻 21
2. 論文標題 『火垂るの墓』における地域表象	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アニメーション研究	6. 最初と最後の頁 45-50
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森本智子	4. 巻 10
2. 論文標題 「おっさんずラブ」の変容 そのコンテンツ展開の功罪	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 女子学研究	6. 最初と最後の頁 45-61
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木戸雄一	4. 巻 52
2. 論文標題 『寄生木』新出資料 断片「花叢」とノート『樵歌牧詠』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 大妻国文	6. 最初と最後の頁 147-166
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大島丈志	4. 巻 50
2. 論文標題 「銀河鉄道の夜」のアダプテーション 「輪るピングドラム」を軸として	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 文教大学国文	6. 最初と最後の頁 23-42
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大橋崇行	4. 巻 20
2. 論文標題 講談と落語のあいだ 初代快樂亭ブラック「英国実話 / 孤児」が示すもの	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 東海学園 言語・文学・文化	6. 最初と最後の頁 15-23
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森本智子	4. 巻 68
2. 論文標題 宮沢賢治の 郊外 まなざしのせめぎ合う場所	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 甲南国文	6. 最初と最後の頁 160-176
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 副田賢二	4. 巻 21
2. 論文標題 三島由紀夫『作家論』 林房雄	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 三島由紀夫研究	6. 最初と最後の頁 82-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊英理	4. 巻 3473
2. 論文標題 規格外の生や小さな声を肯定する 温又柔『魯肉飯のさえずり』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 図書新聞	6. 最初と最後の頁 1
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 渡邊英理	4. 巻 1316
2. 論文標題 「体をもった言葉」から生きる場の痛みに触れる 上間陽子『海をあげる』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 週刊金曜日	6. 最初と最後の頁 54
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横濱雄二	4. 巻 79
2. 論文標題 映画『砂の器』における異界	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 昭和文学研究	6. 最初と最後の頁 30-41
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 副田賢二	4. 巻 43
2. 論文標題 前線 / 銃後 の物語と「大衆文芸」の機能 戦前期『サンデー毎日』掲載の大庭さち子の小説を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 山口国文	6. 最初と最後の頁 63-79
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 五味淵典嗣	4. 巻 20
2. 論文標題 久米正雄『白蘭の歌』と断片の政治学 メロドラマの(不)可能性をめぐって	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Intelligence	6. 最初と最後の頁 132-141
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 木戸雄一	4. 巻 54
2. 論文標題 『寄生木』新出資料の翻刻 小笠原善平のノート『樵歌牧詠』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 大妻女子大学紀要 文系	6. 最初と最後の頁 71-82
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 副田賢二	4. 巻 21
2. 論文標題 三島由紀夫『作家論』 林房雄	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 三島由紀夫研究	6. 最初と最後の頁 82-90
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横濱雄二	4. 巻 65
2. 論文標題 書評 長谷川功一著『銀幕の松田聖子 伊豆の踊子・ハワイ・東京ディズニーランド・教会結婚式から 見えてくる一九八〇年代』	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 日本映画学会会報	6. 最初と最後の頁 17-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 横濱雄二	4. 巻 105
2. 論文標題 書評 河野真理江著『日本の メロドラマ 映画 撮影所時代のジャンルと作品』	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 日本近代文学	6. 最初と最後の頁 162-165
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計18件（うち招待講演 3件 / うち国際学会 2件）

1. 発表者名 森本智子
2. 発表標題 喜劇と純愛 「おっさんずラブ」の世界観の変転
3. 学会等名 「日本近現代文学におけるメロドラマ的想像力に関する多角的研究」2020年度 第1回研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 副田賢二
2. 発表標題 「千人針」の表象空間とメロドラマ 前線 / 銃後を「縫い取る」ということ
3. 学会等名 「日本近現代文学におけるメロドラマ的想像力の展開に関する多角的研究」2020年度 第2回研究会
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 五味淵典嗣
2. 発表標題 プロバガンダとメロドラマ 久米正雄『白蘭の歌』と満洲の表象
3. 学会等名 第129回20世紀メディア研究会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 副田賢二
2. 発表標題 戦前期週刊誌メディアの物語 / 表象空間とメロドラマ 前線 / 銃後の視線・感覚・身体の拡張と「慰問」のコンテクスト
3. 学会等名 科研費基盤研究(C)「日本近現代文学におけるメロドラマ的想像力の展開に関する多角的研究」第2回研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 山路敦史
2. 発表標題 メロドラマの空間編成 『武蔵野夫人』の小説と映画
3. 学会等名 科研費基盤研究(C)「日本近現代文学におけるメロドラマ的想像力の展開に関する多角的研究」第2回研究発表会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊英理
2. 発表標題 現代沖縄文学における記憶の表象と行為遂行性：崎山多美の文学から
3. 学会等名 「韓日記憶ワークショッププログラム グローバルな記憶空間としての東アジア：再現と遂行性(Representation and Performativity)」 韓国ソウル西江大学(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 大橋崇行
2. 発表標題 明治～大正期の演劇/演芸と近代小説の編成 メディア間の相互交渉とアダプテーションの視点から
3. 学会等名 日本近代文学会2019年度秋季大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 渡邊英理
2. 発表標題 Nakagami Kenji as “Contemporary Literature”
3. 学会等名 Weatherhead East Asian Institute 70th Anniversary Event International Workshop: New Directions in Japanese Studies、コロンビア大学(アメリカ)(招待講演)(国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 横濱雄二
2. 発表標題 焼跡と池 『火垂るの墓』の物語化をめぐって
3. 学会等名 早稲田大学国語教育学会第282回例会（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 大島丈志
2. 発表標題 「銀河鉄道の夜」のアダプテーション 「輪るピングドラム」を軸として
3. 学会等名 科研費基盤研究(C)「日本近現代文学におけるメロドラマ的想像力の展開に関する多角的研究」公開研究会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 高橋修
2. 発表標題 『小公子』 二つの物語
3. 学会等名 日本近代文学会2021年度秋季大会パネル報告「方法としてのメロドラマ 情動・翻訳・文化政治
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 木戸雄一
2. 発表標題 メロドラマを生きる 『寄生木』からみるメロドラマの受容・生成・連鎖
3. 学会等名 日本近代文学会2021年度秋季大会パネル報告「方法としてのメロドラマ 情動・翻訳・文化政治
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 副田賢二
2. 発表標題 差異を架橋する「メロドラマ的想像力 戦時下から敗戦直後の大庭さち子と雑誌メディア空間
3. 学会等名 日本近代文学会2021年度秋季大会パネル報告「方法としてのメロドラマ 情動・翻訳・文化政治
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 渡邊英理
2. 発表標題 中上健次と「メロドラマ的想像力」
3. 学会等名 日本近代文学会2021年度秋季大会パネル報告「方法としてのメロドラマ 情動・翻訳・文化政治
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 大島丈志
2. 発表標題 戦時期から戦後における「宮沢賢治」を巡る言説とメロドラマ的想像力
3. 学会等名 オンライン合同研究集会「 国民（ネーション） を縫い直す 貫戦期におけるメロドラマ的想像力の歴史的位相」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 五味淵典嗣
2. 発表標題 終末のスペクタクル アジア太平洋戦争期のメロドラマ的想像力
3. 学会等名 オンライン合同研究集会「 国民（ネーション） を縫い直す 貫戦期におけるメロドラマ的想像力の歴史的位相」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 横濱雄二
2. 発表標題 メロドラマとミステリ再考 『砂の器』をてがかりに
3. 学会等名 オンライン合同研究集会「 国民（ネーション） を縫い直す 貫戦期におけるメロドラマ的想像力の歴史的位相」
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 横濱雄二
2. 発表標題 ミステリにおけるメロドラマ性についての検討
3. 学会等名 「日本近現代ミステリにおける危機表象の史的研究」第2回研究報告会
4. 発表年 2022年

〔図書〕 計1件

1. 著者名 渡邊英理	4. 発行年 2020年
2. 出版社 フィルムアート社	5. 総ページ数 276
3. 書名 クリティカルワード 文学理論	

〔産業財産権〕

〔その他〕

研究会公式フェイスブックページ https://www.facebook.com/%E8%BF%91%E7%8F%BE%E4%BB%A3%E6%97%A5%E6%9C%AC%E3%81%AE%E3%83%A1%E3%83%AD%E3%83%89%E3%83%A9%E3%83%9E%E7%A0%94%E7%A9%B6%E3%81%AB%E5%90%91%E3%81%91%E3%81%A6%E9%96%93%E3%83%A1%E3%83%87%E3%82%A3%E3%82%A2%E6%80%A7%E3%82%92%E6%84%8F%E8%AD%98%E3%81%97%E3%81%9F%E3%83%A1%E3%83%AD%E3%83%89%E3%83%A9%E3%83%9E%E3%81%AE%E6%96%87%E5%8C%96%E5%8F%B2%E6%A7%8B%E7%AF%89%E3%81%AB%E9%96%A2%E3%81%99%E3%82%8B%E5%9F%BA%E7%A4%8E%E7%9A%84%E7%A0%94%E7%A9%B6-106330985316039
--

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	五味 淵 典嗣 (Gomibuchi Noritsugu) (10433707)	早稲田大学・教育・総合科学学術院・教授 (32689)	
研究分担者	横濱 雄二 (Yokohama Yuji) (40582705)	甲南女子大学・文学部・教授 (34507)	
研究分担者	副田 賢二 (Soeda Kenji) (40545795)	防衛大学校(総合教育学群、人文社会科学群、応用科学群、 電気情報学群及びシステム工学群)・人文社会科学群・教授 (82723)	
研究分担者	高橋 修 (Takahashi Osamu) (90179474)	共立女子短期大学・その他部局等・教授 (42674)	
研究分担者	渡邊 英理 (Watanabe Eri) (50633567)	静岡大学・人文社会科学部・准教授 (13801)	
研究分担者	森本 智子 (Morimoto Tomoko) (90803601)	甲南女子大学・文学部・講師 (34507)	
研究分担者	大島 丈志 (Oshima Takeshi) (90383215)	文教大学・教育学部・教授 (32408)	
研究分担者	大橋 崇行 (Ohashi Takayuki) (00708597)	東海学園大学・人文学部・准教授 (33929)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	山路 敦史 (Yamaji Atsushi) (40868882)	武蔵野大学・文学部・助教 (32680)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関